

学び合い

やり抜く

栄中生

4月号

保護者・地域に支えられた栄中教育の情報誌

平成25年度版

校長 橋本 忠

平成25年度がスタートしました。1年間よろしくお願ひします。

春爛漫の季節となりました。日頃から栄川中学校の教育活動につきましては、格別なる御指導・御支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、平成24年度末教職員人事異動によりまして、5人の新しい職員が着任しましたので御挨拶申し上げます。御支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

私たち栄中教職員は、こころざしをもちたくましく生き抜く力をもった子どもたちを育てるために、「学び合い やり抜く 栄中生」を学校教育目標に掲げ、知・徳・体の調和がとれた自立した生徒の育成を目指し教育を進めていきます。

本年度は掛川市内一斉に中学校区学園化構想が進んでまいります。「子供育成支援協議会」を組織の中心として、家庭・地域・学校が一体となって子どもたちを育成していく活動であります。栄川中学校区がこれまで進めてきた青少年健全育成の活動による保護者の皆様や地域の方々との深いつながりや、幼小中一貫教育の研修で培ってきた教職員の縦と横のつながりは「信頼の源」となっています。教職員は、子どもたちのために情熱を傾け、保護者や地域の方々との「信頼関係」をさらに高める学校づくりを目指してまいります。今後とも御支援、ご協力よろしくお願ひします。



始業式で子どもたちにお話した内容です（一部省略）

……さて、みなさんはこの春休みをどのように過ごしましたか。この春休み中にあった良いなと思った3つのお話をさせてもらいます。

一つ目は、先日行われた離任式の時の話です。実はこの日には先生方だけで、送別会という会も行いました。そのなかで、転退職される先生方が口をそろえておっしゃってくれていたことです。それは、表現は違っても**「栄川中に勤務できて、本当に良かった」**という言葉でした。栄川中はみなさんにとって人間関係が良くて過ごしやすい学校だと思います。みなさんにとって過ごしやすい学校ということは、実ははそこで勤務されている先生方にとっても勤務しやすいやりのある学校であると思います。みなさんは、**「生活しやすい学校」**という良い伝統を引き継いでくれています。

二つ目の話は、挨拶のことです。今ここに仲間入りをして下さった新任の先生方が、この学校に初めて訪問された時のことです。校舎の中を紹介して回っていて、体育館まで来た時です。部長の三尾さんを中心としたバレー部の人たち、部長の落合泰克君中心とした卓球部の人たちが、新任の先生方にとっても大きな声で元気な挨拶をしてくれました。その他の部の人たちも、先生方が通った時に、明るい挨拶をしてくれました。その様子はとてもすがすがしかったです。**「挨拶は栄中の伝統である」**とみなさんも考えていると思いますが、日常の中でもこのように自然に行うことができたのが素晴らしいと感じました。

三つ目の話は駕籠駅伝のことです。3月24日（日）に日坂地区で駕籠駅伝大会が行われました。休日にもかかわらず、陸上部のみなさんが参加してくれました。聞けば20年以上の歴史がある大会だそうです。その大会に中学生である陸上部のみなさんが参加してくれたことを、地域の人が大変喜んでくれました。議員さん、運営関係者の方、他の地元の方など「とても良いことだ、これからもぜひ参加してほしい」と大きな期待をよせてくれました。**地域の人たちは、みんなを支えてくれています、同時によく見てくれています。そして、みんなの頑張りが地域にさらなる活気を与えることができる**と感じました。

このように、みなさんの頑張りを、先生方も、保護者の方も、地域の方も応援して、支えてくれるのが、栄中だと改めて感じました。

今年度の学校教育目標は昨年と同じ**「学び合い やり抜く 栄中生」**です。

3年生は自分の進路を決定する大切な1年になります。2年生も一つ学年が進級しました。自分の希望する進路を勝ち取ることや苦手な教科を克服したいという目標を持っている人も多いと思います。ぜひ、自分の目標を達成して行ってほしいと思います。日々の授業や様々な場面で、ぜひ「学びあって」ください。

また、部活動などで昨年よりも良い成績や成果を取りたいと考えている人も多いでしょう。日々の練習が大きな大会でものをいいます。部活動だけではなく、日々の大変なことを最後まであきらめず「やり抜いて」ほしいと思います。……

